

「特注セミナー」での小学校向け体験型プログラムの開発とアンケート調査 —『どんぐりの成る木を知ろう』の例



自然・環境再生研究部 コミュニケーション・デザイン研究グループ 小舘 誓治



深田公園で児童が活動している様子

ひとはくでは、来館される団体向けに研究員などが実施する「特注セミナー」（予約制）と呼んでいるセミナーがあります。小学校の団体の場合、学校からの希望分野によって該当する研究員に連絡が入ります。私の場合、担当が決まれば、先生方がひとはくへ下見に来られた時や電話、メール等で打ち合わせをさせていただきます。テーマや学年、人数、時間、季節、博物館の周辺の状態等々の条件によって（学校のニーズに合わせてつつ）詳細な内容を決めて行きます。こういう機会が新しいプログラムの開発につながる場合があります。

●どんぐりについておしえてください（あてはまるものに○）

① どんぐりをひろったことがありますか？（どちらかに○）
1. あり 2. ない

② どんぐりについてるものをどうよびますか？（どちらかに○）
1. ぼうし (ぼうし) 2. ぼんつ (ぼんつ) 3. かくと (かくと) 4. そのた (そのた)

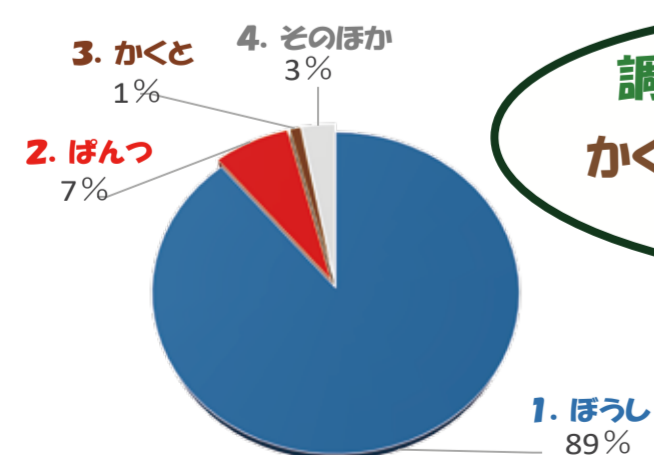
③ どちらのえをよくみますか？（どちらかに○）
1. (ぼうし) 2. (ぼんつ)

小学校 学年 号



秋のプログラムとして、どんぐりの成る木を対象とし落ち葉やどんぐり（堅果）、かく斗を探す体験型のプログラムを開発する中で、どんぐりに関する簡単なアンケート調査を学校の協力のもと実施する機会がありました。アンケートの結果をセミナーの導入にして、最近『どんぐりについてるものを「ぼうしと呼ばないで！」』と言って（その理由を述べながら）話を始めるようにしています。

授業の前に実施したアンケート



調査した小学生の多くが
かく斗のことを「ぼうし」と
呼んでいます。

※ 小学3・4年生の
児童の175人分を
まとめた結果

かく斗の呼び方のアンケート結果※

学校でアンケート記入

深田公園でワークシート
をたよりにどんぐりの
成る木の落ち葉や堅果、
かく斗をセットでさがす

解説 やり取りをする

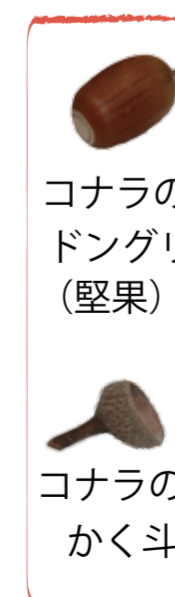
プログラムの流れ

◆1 どんぐりのなる木の葉っぱをさがそう!

① ギザギザの大きさは? ② ギザギザの大きさは? ③ ギザギザの大きさは?

植物の名前 小学校 年組 名前

児童に配布したワークシート



説明に用いた補助資料（ラミネート加工）